



チーム仕事のスピード化 × 効率化 × 安定化を

実現する「しくみ化」仕事術

～チーム内の連携が円滑になる〈しくみ〉のつくり方、一度つくった〈しくみ〉が形骸化しない運用方法を学ぶ！～

と き

2025年 5月 28日(水) 9:30～16:30

開催形式

会場(中産連ビル 研修室) または オンライン(ZOOM配信)

ご参加
いただきたい方

●すべてのビジネスパーソン

- ※特に、
- メンバーが無理なく楽に運用し続けることができる〈しくみ〉をつくりたい方
 - 仕事が属人化しており、バックアップ体制やノウハウ共有化ができずにお困りの方
 - 繁忙期など業務過多の時期に、ミスを減らし、業務を効率化する方法を身につけたい方

良い〈しくみ〉がつかれない…つくっても時間とともに運用されなくなる…そんな悩みを解決します！

皆さまは仕事を進めていく上で上司や同僚からきちんと〈しくみ〉づくりをしようと、一度は言われたことはありませんか？
どんな仕事でも“1度きり”で終わりということではなく、2度目・3度目と継続的に実践していくことがほとんどですので、
「継続的に運用しやすい方法」をしっかりと考えて仕事をするのが大切です。
また、仕事の成果はチームの連携プレーで決まりますので、そこには一人ひとりが効率的・継続的に動ける〈しくみ〉が必要になってきます。

〈しくみ〉とは、平たく言えば「人が動きやすいルールの手順と体系」であり、かつ、「成果への“再現性”が担保されているもの」です。
よって、誰が担当しても成果の量や質に大きな差が出ないようにすることが求められますので、「標準化」「体系化」が必要になります。
この「2つの化」がきちんとできていないと、せっかくつくった〈しくみ〉を運用してもその先の「効率化」や「生産性向上」につながらず、
残念ながら時間の経過とともに有名無実化してしまいます。

◆ 〈しくみ〉づくりと運用に困っている方にとって、〈しくみ〉の作成&刷新への実践方法が学べる

そこで、本研修では「ビジネスシーンの変化に合わせて仕事を進めていくための新しい〈しくみ〉づくりが必要な方」や
「今運用しているしくみが形骸化し、ひどい場合には仕事の足枷になってしまっている」とお困りの方に、

- ① 運用する人が使いやすく、無理なく継続しやすい〈しくみ〉のつくり方
- ② “やらなければならない(Must)”ではなく“やりたくなる(Want)”〈しくみ〉で、メンバーをその気にさせる方法
- ③ 5Sやトヨタ生産方式の成り立ちをヒントにした〈しくみ〉のつくり方と運用方法のエッセンス
- ④ 失敗事例から学ぶ、“形骸化しない”、“モチベーションが下がらない”〈しくみ〉の運用方法
- ⑤ 今、使われていない〈しくみ〉をうまく刷新(アップデート)させて、メンバーに活用してもらう方法

を体系的な理論と演習で学び、研修後には自職場で新たな〈しくみ〉がつかれるようになることに加えて、
自職場で機能不全している〈しくみ〉をアップデートできるノウハウを身につけていただきます。

「● 仕事を円滑に回し、効率化する〈しくみ〉づくりが絶対に必要」、「● 今機能していない〈しくみ〉を抜本的に見直して改善したい」、
「● メンバーのモチベーションが上がる〈しくみ〉をつくりたい」、「● 使えば使うほど考える力が養われる〈しくみ〉をつくりたい」。
このような思いを持つ方にとって新たな活路を拓く機会になりますのでぜひご参加ください。

◆ 研修プログラム (9:30～16:30)

1. はじめに ・研修概要の説明、ウォーミングアップ	5. 「しくみ化」が生む効果 ～1つ高い視点から捉える 個人ワーク、全体共有、解説 (1) 製造現場で利用する装置・機械類は、なぜ定期メンテナンスが必要なのか？ (2) “装置・機械類が止まらない”は目的か？ (3) +αで得られるデータという情報の活用
2. 「しくみ」で目指すこと 個人ワーク、全体共有、解説 (1) しくみとは？ ～目的と手段 (2) “しくみの事実”を知る (3) Goodなしくみとイマイチなしくみ	6. 得られた結果情報を活用するための「しくみ化」 ～情報のデータ化で「しくみ化」を実現 個人ワーク、全体共有、解説 (1) 情報は得られれば、使えるものになるのか？ (2) 使える情報にする「しくみ化」とは (3) 使える情報にするための2つの観点 (4) 情報のクリーニングとかかる手間
3. 「しくみ」として5Sを考える 個人ワーク、全体共有、解説 (1) 5Sとは？ (2) 5Sの実践効果とは？ (3) 5Sという手段の本質的な効果	7. 「しくみ」改善の具体例と「しくみ化」のステップ 個人ワーク、全体共有、解説 (1) トヨタ生産方式から学べる「しくみ化」のエッセンス (2) トヨタ生産方式による「しくみ化」へのポイントとステップ (3) 「しくみ化」ってこんなに楽しい
4. 企画と計画の「しくみ化」 ～ひな形で促進される思考 個人ワーク、全体共有、解説 (1) 企画書のひな形の検討してみる (2) 企画の目的から考えるひな形の例 (3) ひな形を使った企画の検討 (4) 企画と計画の関係 (5) 計画書のひな形の検討	8. 総まとめ ～全体の振り返り、しくみ化の視点の最終確認

講 師

中産連パートナー講師 (ビジネスコンサルタント、しくみ化仕事術実践トレーナー)

早稲田大学卒業後、出版・通信教育会社に就職。20年以上にわたり、教育サービスの事業責任者、サービス共通基盤開発などのメガプロジェクトの責任者を担当。コンサルタントとして独立後、幅広い業務領域での実務経験を通じて培った「しくみ化による業務改善と生産性アップ」「統計活用」「データ分析」「クリティカルシンキング」等のノウハウを活かし、経営分析、業務分析、業務構築・リエンジニアリングの社員教育など、企業向け支援を中心に活動する傍ら、国立大学法人にてデータサイエンス、教育測定・評価論の講座を担当している。また、国内最大手のビジネススクール、大手ウェビナーサイトで講師を務めており、受講者は数万人を超える。アクティブ・ラーニングの手法を取り入れた受講者との双方向型の研修は、熱心で丁寧な説明&解説と実務に直結したケーススタディを織り交ぜた学習意欲の引き出し方や解説の分かりやすさに定評がある。その他、データ分析(統計リテラシー)に関する共著も刊行している。

チーム仕事のスピード化×効率化×安定化を実現する「しくみ化」仕事術 (5/28) 参加要項／参加申込書

参加費 (1名様)	<table><tr><td>セミナー受講のみ</td><td>中産連会員 36,300円(消費税込)</td><td>中産連会員外 41,800円(消費税込)</td></tr><tr><td>フォローアップ(事後行動支援)付き</td><td>42,900円(消費税込)</td><td>48,400円(消費税込)</td></tr></table>	セミナー受講のみ	中産連会員 36,300円(消費税込)	中産連会員外 41,800円(消費税込)	フォローアップ(事後行動支援)付き	42,900円(消費税込)	48,400円(消費税込)	★事後行動支援のラーニングコーチが「しくみ化」の定着と日常での実践を支援し、マインドと行動の変容をしっかりと後押しします！
セミナー受講のみ	中産連会員 36,300円(消費税込)	中産連会員外 41,800円(消費税込)						
フォローアップ(事後行動支援)付き	42,900円(消費税込)	48,400円(消費税込)						
申込方法	●中産連ホームページの各セミナー詳細よりお申込みください。(https://www.chusanren.or.jp) 申込みが完了しますと、申込責任者のメールアドレスに「申込完了メール」が届きます。 ●FAXでのお申込みも可能です。下記申込書に必要事項を記入の上、切り取らずに送信してください。 ●フォローアップ(事後行動支援)を希望される方は下記申込書の欄に「レ」を入れてください。 ※コンサルタント及び教育機関の方のお申し込みはお断りしております。ご了承ください。							
受講までの流れ	<会場受講の場合> 受講票と請求書を開催日の約2～3週間前に申込責任者宛へ郵送します。 <オンライン受講の場合> ①開催日の約1週間前になりましたら、「参加用URL」「ミーティングID」「パスワード」をメールにてご案内します。 ②テキストと請求書は開催日の約1週間前に申込責任者へ郵送します。 【オンライン受講の注意事項】 ・配信システムはZoomを使用します。Zoomがインストールできるカメラ付きパソコンをご用意ください。また、イヤホン付きマイクのご使用を推奨します。 ・接続が切れないよう有線のLAN環境での受講を推奨します。また、接続先環境に起因する音声・映像障害などについては保証しかねますのでご了承ください。 ・IDを共有してのご利用や、画面を投影してのご利用など、参加者ご本人以外での使用はお断りします。 ・研修の撮影・録音は固くお断りします。							
キャンセルについて	お客様の都合によりキャンセルされる場合には、以下のキャンセル料を申し受けます。 ・会 場 受 講 の 場 合 : 開催日の前日(土日祝日を除く) & 当日・・・・・・受講料の100% ・オンライン受講の場合 : テキスト発送後(開催日の約1週間前)・・・・・・受講料の100% ※テキスト発送日はセミナーにより異なりますので下記担当者へご確認ください。							
申込み・問合せ先	一般社団法人中部産業連盟 マネジメント研修事業部 小橋川 〒461-8580 名古屋市中区白壁3-12-13 TEL : 052-931-9824 e-mail : kohashikawa@chusanren.or.jp							

会社名

〒

所在地

TEL

FAX

参加形態	フォローアップ (事後行動支援) を希望(✓)	参加者 所属部課・役職名	参加者氏名(フリガナ)	E-mail アドレス
☐ 会場 ☐ オンライン				
☐ 会場 ☐ オンライン				
☐ 会場 ☐ オンライン				

申込責任者 所属部課・役職名	申込責任者氏名(フリガナ)	E-mail アドレス

会社概要	業種(主要製品名)	資本金	従業員数	今回ご記入いただく個人情報、セミナー等の運営・情報提供(郵便、メール、FAX等)においてのみ使用致します。 詳細は当連盟HP(http://www.chusanren.or.jp/privacy/index.html)をご覧ください。 同意のうえ、ご協力をお願い致します。関連情報が不要の場合には下記にレ点のご記入をお願い致します。 ☐ セミナーなどの関連情報の案内を希望しない
		百万円	人	
中部産業連盟会員(○印をお付けください)		会員 ・ 会員外		